

たかむくの まちづくり

協議会
広報紙

No.39

目次

- p2~3 … 田んぼアート復活
- p4 … 令和5年度決算書、6年度予算書
- p5 … 各部会活動報告
- p6 … 高椋まめ知識、防災力UPミニ講座他



世帯数	2,777戸
人口	7,165人
男	3,610人
女	3,555人

R6.5.31 現在

高椋の人口

たかむくの まちづくり

第39号 R6.7.10

まちづくり協議会に対するご意見は
たかむくのまちづくり協議会事務局まで

〒910-0242 (高椋コミュニティセンター内)
福井県坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1
TEL (0776) 68-0843
koshinotakamuku@gmail.com

防災力UP!ミニ講座 第13回

みんなで作ろう地区防災計画

能登半島地震から約半年が経過しましたが、未だ住民の生活は安定せず、行政の対応も考えていたほど成果が上がっていないようです。元の生活を取り戻すにはまだ相当の時間を要すると考えられます。

いつ発生するかわからない災害に備え、5月に高椋地区防災計画策定委員会を立ち上げました。6月から計画策定ワークショップを開催し、班ごとに協議しながら災害の洗い出し(地震・土砂・風水害・雪害)を行っていきます。みんなで作った防災計画を「準備」→「対策」→「訓練」と実行していくことが「互助」につながり、いざという時に大きな力を発揮します。途中からの参加も可能ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

地震が発生したら

①正しい情報の入手

- ◆地域の防災マップを活用する
- ◆ラジオ・テレビ等からの情報を収集する
- ◆広報車や防災無線からの情報を聞き漏らさない
- ◆警察官や自衛隊員の誘導に従って行動する

②安否情報と緊急連絡

- ◆緑やグレーの公衆電話から緊急連絡を
- ◆災害伝言ダイヤル171番の活用

③ライフラインの被害確認と復旧

- ◆水道・電力施設の被害と復旧情報は、広報車やラジオ・テレビ等を通じて伝えられる
- ◆ガスの供給開始は

プロパンガスの場合、地震を感じガスが遮断された場合メーターの復帰ボタンを押せば異常がなければ開栓される。開栓されない場合はガス会社に連絡し指示に従う。カセットコンロの準備も必要

- ◆水道が復旧するまでは、給水車や給水機点でもうら水で対処するしかないが、水道復旧には時間がかかるため、地域にある井戸や川の利用を考えておく必要がある
- ◆ガス1人が1日に必要な水は3リットルと言われているが、実際には10リットル必要

余震については、発災後、建物に居るのは最低6時間必要です。安全が確認されていない建物での避難所開設は厳禁です。不確実な情報に惑わされず、余震が来ても安全な場所に避難しましょう。



(防災士 吉田 幸憲)

編集後記

数年ぶりに復活した田んぼアートに参加いたしました。乗っついで田植えする子どもたちの表情を撮影しようと、私も思わず立つて田んぼに入ってしまった。田んぼ一帯は北陸新幹線と一緒に開拓が進んでいました。皆さんも現地で、または北陸新幹線内から丸岡城を望む方向に向っています。田んぼは描かれる福の生育を確認ください。

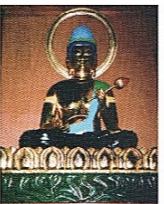
まだ、来年以降の田んぼアートへようこそ。お友達を説いての参加をお願いいたします。

高椋まめ知識
No.39

高柳八幡神社境内の御堂のせじ、寄木造りで煙ひやかな像高約百十一cm、幅約七十七cm、奥行約六十七cmの「救世觀音菩薩座像」が祀られています。この像は、その昔付近の川かい流れいたといふのが定ではない。像の横に置かれた木簡には「奉再建救世觀音菩薩座像」文化十一年四月五日、高田半左衛門平忠貞が貢献したといふ。一七八五年に当時の高柳代官の代官であった時高田半左衛門平忠貞が高柳にあったとき考えられる。重建の文子から像はそれ以前から高柳にあったとも考えられる。像の作者や年代は不詳。

救世觀音菩薩（般若波羅蜜多經）と称す）とは世の苦しみ人の苦しみを救つてきたる觀音堂を再建したことが推測される。平安時代の法華經（お祭巡禮）が晩年八年閻で説いた教え（信仰から伝わったと言われ、お祭巡様の予言に基づく仏教思想が基）あります。

（松本盛博・記）



ふくい桜マラソン2025 「地元ランナー」をご招待

開催日時 令和7年3月30日(日)

招待種目 マラソン(42.195km)

定 員 3名(申込み多数の場合は抽選)

参 加 料 無料(交通費・宿泊費は自己負担)

参 加 資 格 満18歳以上(大会当日時点)で、対象地区的自治会に加入されている方

申 込 先 高椋コミュニティセンター
(tel 0776-68-0843)

申込締切 令和6年8月7日(水)

※大会概要詳細は下記QRコードから



わたしの推し花

ユーフォルビア ダイヤモンドフロスト (PW)

夏の暑さに強く、晚秋まで白い小花(苞と花)をふんわりと咲かせながら生長します。色々な植物と一緒に植えるとその花々を引き立てるので、寄せ植えに最適です。白い小花は何色の花にもよく似合います。ドーム状に丸く育てるも見えがあります。寒さには弱い低木なので、室内の暖かい場所で冬越しできると次の年も育てる事ができます。切り花として楽しみながら、水挿して発根させて増やす事もできます。茎を切ったときに出来る白い液は、かぶれることもあるので注意が必要です。





丸岡藩誕生400年記念

丸岡藩誕生400年記念及び北陸新幹線福井・敦賀開業を記念して、5年ぶりに田んぼアート事業が復活。丸岡城「内堀の五角形」をイメージしたデザインに挑戦しています。

5月25日の田植え体験に約100名の参加をいただき、子どもにはよい思い出ができたと思います。今後は、7月下旬から8月上旬にかけて鑑賞会を開催し、9月下旬には稲刈りを予定しています。

田んぼアート事業復活



田んぼから見える北陸新幹線



歴史文化部会

歴史文化学習会

「寺子屋シリーズ」始まる

五月十一日歴史文化学習会「仏像の歴史」が開催されました。講師は称念寺の高尾篤誠住職です。高尾住職は称念寺や高椋地区にある仏像の歴史を解き明かすと、今回「インドの仏像の誕生に滿り数多くの画像をスライドショーにして、楽しく分かりやすくお話をされました。この学習会は、明智光秀が越前に滞在中、称念寺門前で子供に手習いを教えていた寺子屋にちなみ、自由な雰囲気で皆が学ぶ場所にしようと、という思いから「寺子屋シリーズ」と名付けられました。

主催する歴史文化部会では、今後も高尾住職を講師にお招きし、歴史文化学習会を開催します。次回は、九月七日(土)に開催の予定です。皆さんのお参加をお待ちしています。



区長会・あんしん部会

高椋地区防災計画策定ワークショップ始まる

近年では、毎年のように全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害が多発しています。そこで高椋地区では、地区的課題を整理し、何ができるかを話し合う「防災計画策定ワークショップ」を全八回で実施することになりました。

六月二十一日(木)に第一回を開催し、本格的なワークショップが始まりました。グループに分かれて地区的特徴や気になるところを話し合い、各グループで発表しました。いろいろな考え方や意見がたくさん出て、普段気づかないようなことに気づききっかけになりました。

終わった後は、楽しめたという声も多かったので、途中からでも参加したいという方は是非お申し込みください!



高椋小学校合宿通学 六月七日～八日

あんしん部会では、市教育委員会が高椋小学校体育館で開催した避難所生活を体験する合宿通学に協力し、参加した児童に殷ボーリベッドや間仕切りの組み立て設置・片付け等の指導・補助を行いました。

令和6年度のまちづくり協議会がスタートしました

4月24日(水)、高椋コミュニティセンターにおいて令和6年度たかむくのまちづくり協議会総会が開催され、前年度の決算報告と今年度の予算案が承認されました。

令和6年度の予算案

(収入)

地区会費	930,000 円
市交付金	4,902,900 円
寄付金	0 円
雑収入	78,190 円
繰越金	1,288,910 円
合 計	7,200,000 円

令和5年度の決算報告

(収入)

地区会費	931,000 円
市交付金	4,854,900 円
寄付金	0 円
雑収入	214,430 円
繰越金	1,323,960 円
合 計	7,324,290 円

(支 出)

会議費	30,000 円
事務費	250,000 円
総務費	1,687,581 円
区長会活動費	1,462,419 円
敬老事業費	1,330,000 円
あんしん部会費	700,000 円
ふれあい部会費	600,000 円
歴史文化部会費	800,000 円
センター活動費	140,000 円
予備費	200,000 円
次年度繰越金	0 円
合 計	7,200,000 円

(支 出)

会議費	24,828 円
事務費	228,636 円
総務費	1,376,658 円
区長会活動費	1,029,490 円
敬老事業費	1,285,000 円
あんしん部会費	416,828 円
ふれあい部会費	628,540 円
歴史文化部会費	946,799 円
センター活動費	98,601 円
予備費	0 円
次年度繰越金	1,288,910 円
合 計	7,324,290 円

今後のまちづくり協議会の事業としては、ふれあいまつりや高椋小学校での出前事業(かけっこ教室)を予定しています。ふれあいまつりは高椋地区において最大のイベントです。今年も大いに盛り上げたいと思いますので、みなさんのご参加をお待ちしております。



令和6年度まち協役員